

ILFOCOLOR C41-N3 color negative film Fixerは、カラーネガフィルム現像処理用の定着液です。カラーネガフィルムの現像処理において、能力限界まで処理剤を無駄なく使い、処理装置に合わせて最小限の液量で処理が可能です。処理剤の容器は廃材が少ないフィルムバッグを採用し、また処理済みの廃液は同梱の専用凝固剤で固めて焼却処理を可能とする事で、環境負荷を抑えた設計になっています。

ILFOCOLOR C41-N3は少ない環境負荷でカラーネガ画像を忠実に再現し、高品質のパフォーマンスを提供します。

### 特徴

- ・ 小型リールタンクやLAB-BOXの少量現像処理用に設計されたカラーネガフィルム用定着液です。
- ・ 指定数量の水へ濃縮液を溶解する事で簡単に500mlの使用液が作成できます。
- ・ C41-N3使用液500mlで、135-36exフィルムを10本、あるいは120フィルムを10本の処理が可能です。
- ・ 使用済の処理液は、同梱の凝固剤で固めることで焼却ゴミとして廃棄できます。

### 梱包内容

製品名	薬品	原液容量	使用液	処理可能本数
ILFOCOLOR C41-N3 Fixer	C41-N3 FX	105 ml×1	500ml用	10本/135-36exp,120
DISPOSAL COAGULANT	廃棄用凝固剤	30 g×1	500ml用	—
	廃棄用紙袋	1枚		



### C41-N3使用液の作り方

#### \*注意事項

写真処理剤は、酸性やアルカリ性の薬品から来ています。取扱いに際しては必ず保護具（保護メガネ、手袋など）を着用し、薬品を直接触らないように注意してください。

# C41-N3 500ml

Manufactured by  
**ILFORDJAPAN CO., LTD**  
19-1, Narihira 2-Chome, Sumida-ku  
Tokyo 130-0002, Japan  
<http://www.ilford.co.jp> <http://www.ilford.com>

### 溶解方法

水395mlへFX(1袋)を加え攪拌し、液がクリアになったら使用液の出来上がりです。

水395ml  
+ N3 FX 105ml(1袋)  
= C41-N3 使用液500ml

- ・ 原液を溶解する水は30±5°C程度に温めてから使用してください。
- ・ 発熱や有害なガスの発生の原因となるので、決められた組み合わせ以外の処理剤を混合しないでください。

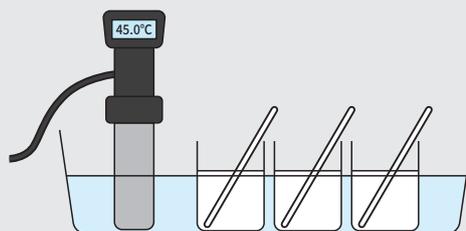
### ILFOCOLOR C41-N3の処理条件 (使用液500ml)

処理工程	製品名	処理温度 (°C)	135-36ex, 120の処理本数と処理時間 (500ml当り)	
			1~10本目	
定着 (FX)	ILFOCOLOR C41-N3	38±3	4'20"	

- ・ 表示されている処理時間は、約10秒間の液切り時間を含んでいます。

### 処理液の温度調整

- ・ 処理液の入った容器を、40~50°C程度のお湯を入れたバットに浸けて温度調整してください。
- ・ 低温調理器等を使用してバットの液温調整をすると、比較的容易に処理液の温度を調整できます。
- ・ ガラスピーカーを用いる場合は直接電熱器で加熱しても構いません。ただし、加熱のし過ぎに十分注意してください。



### ILFOCOLOR C41-N3のpH/比重と保存期間

処理工程	薬品	使用液 pH	使用液 比重	開封済原液	使用液
定着	N3 FX	7.0	1.07	24週間	24週間

- ・ 使用液を保管する場合は、ポリ瓶等でしっかり蓋を閉じ冷暗所で保管してください。
- ・ 開封後の原液を保管する場合は、フィルムの開口部をしっかり閉じ冷暗所で保管してください。

### 使用済み処理液の廃棄

ピーカー等の容器に同梱の紙袋をセットし、使用済みC41-N3処理液500mlを入れます(紙袋は底部を3回折り返してセットしてください)。

攪拌しながら凝固剤30g(1袋)を加え3分間攪拌します。約10分で廃液が凝固し可燃ゴミとして廃棄することができます。

